

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんかたやまけのうがくきょうまいほぞんざいだん 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団	団体ウェブサイトURL	<a href="https://www.arc.ritsumei.ac.jp/k-kanze/">https://www.arc.ritsumei.ac.jp/k-kanze/</a>	
代表者職・氏名	理事長 片山清司			
制作団体所在地	〒 605-0088 最寄り駅(バス停) 京阪電車 三条駅 京都市東山区新門前大和大路東入西之町224番地・225番地			
電話番号	075-551-6535			
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじんかたやまけのうがくきょうまいほぞんざいだん 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団	団体ウェブサイトURL	<a href="https://www.arc.ritsumei.ac.jp/k-kanze/">https://www.arc.ritsumei.ac.jp/k-kanze/</a>	
代表者職・氏名	理事長 片山清司			
公演団体所在地	〒 605-0088 最寄り駅(バス停) 京阪電車 三条駅 京都市東山区新門前大和大路東入西之町224番地・225番地			
制作団体 設立年月	075-551-6535			
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等		
	理事長 片山清司 理事 井上八千代(京舞・人間国宝) 理事 大倉治彦(月桂冠(株)社長)他4名 別添1「理事・監事・評議員名簿」参照	<a href="http://www.arc.ritsumei.ac.jp/k-kanze/pdf/files/teikan.pdf">定款参照http://www.arc.ritsumei.ac.jp/k-kanze/pdf/files/teikan.pdf</a>		
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	駒井潤	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	駒井潤	

本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:k-zai@drive.ocn.ne.jp">k-zai@drive.ocn.ne.jp</a>
-------------------------	--

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p>観世流片山家は世阿弥が大成した能の伝統を京都で受け継いでいる家柄。明治期に至るまで「禁裏御能(きんりごのう)」と呼ばれる、御所において天皇が主催される能に奉仕するという大役を受け持っていました。明治期に六世片山九郎右衛門と京舞井上流三世家元井上八千代の結婚とともに、一つ屋根の下に「能」と「京舞」という二つの伝統芸能が共存することとなりました。能・京舞の技術的な伝承だけでなく、数多く保存されている能面や能装束なども後世により良い形で残していきたいということもあり、財団法人化への機運が高まり、平成8年6月に財団法人を設立。その後、平成23年6月に京都府より認可を受け、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団となりました。能楽・京舞関係諸資料の収集、保存および公開を行うとともに、能楽・京舞の公演、伝承者の養成等を行い、能楽・京舞の振興と普及に努めています。京都を本拠地にし、全国各地での公演、海外における公演も行ってまいります。京舞井上流四世家元井上八千代、九世片山九郎右衛門(片山幽雪)、京舞井上流五世家元井上八千代の親・子・孫と三代にわたり三人の人間国宝を輩出しています。</p>		
学校等における 公演実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立命館小学校にて年間を通じて特別授業年約30回、小公演及びワークショップ年2回(平成18年より毎年)</li> <li>・香川県高松市教育委員会の依頼により、高松市内小中学校にて公演及びワークショップ(平成12年より毎年10月、昨年は6校)</li> <li>・同志社中学校能楽鑑賞会にて公演及びワークショップ(平成14年より毎年1回)</li> <li>・京都外国語大学にて特別講義およびワークショップ(平成25年より年2回)</li> <li>・京都大学能楽鑑賞会にて公演(昭和31年より毎年12月)</li> <li>・和歌山大学教育学部にて小公演及び能楽講習会(令和5年8月9日実施)</li> <li>・世田谷区立阿佐ヶ谷中学校の依頼で公演及びワークショップ(令和5年9月13日実施)</li> <li>・高台寺(京都)にて、修学旅行生(主に中学生、学校単位にて)を対象に臨済宗の法話の後、公演・ワークショップ(平成20年より毎年50校程度)</li> </ul>		
特別支援学校等における 公演実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年5月14日岡山県健康の森学園支援学校にてワークショップ</li> <li>・平成27年6月19日岡山県健康の森学園支援学校にて公演(能「大会」)</li> <li>・令和3年11月 9日鹿児島県立鹿児島聾学校にてワークショップ</li> <li>・令和3年11月30日鹿児島県立鹿児島聾学校にて公演(能「舍利」)</li> </ul>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://www.arc.ritsumei.ac.jp/mov/vEmbed/10521">https://www.arc.ritsumei.ac.jp/mov/vEmbed/10521</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	不要
		PW:	20240918

別添	あり
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	～色々な種類の能面を鑑賞～絵本語りとともに楽しむ 能「一角仙人(いっかくせんんにん)」			
企画のねらい	本企画では、見せ場だけを切り取って <b>演目の一部分を実演する半能やダイジェスト版ではなく、演目一曲を通して鑑賞していただきます</b> 。舞台上で行われていることを理解するために、ワークショップでは能の出演者と同じ仕舞や謡をお稽古します。公演当日、まずは紙芝居のような形の「絵本語り」を鑑賞し、お話のあらすじが頭に入ります。次にお稽古したことの発表を行います。そして、最後に本物の能を鑑賞しますが、お稽古したところは能の最後のクライマックスの部分です。何度もお稽古したところなので、謡も仕舞も覚えていきます。「自分たちが一生懸命お稽古し、発表したものは、これだったんだなあ」と理屈ではなく体感し、感動を得ることができます。ワークショップに始まって本公演に至る一連のプログラムを子どもたちに楽しんでいただきます。			
演目概要・演目選択理由	一角仙人が神通力で龍神を封じ込めてしまったため、天竺ハラナ国(インド中部、ガンジス川流域にあった国)は雨がふらず、大干ばつになってしまいました。美しく聡明なセンダ夫人は国王から仙人の神通力を解く役割を申しつけられます。一角仙人は山奥にもこもり、厳しい修行の末に、すさまじい神通力をもつようになり、皆から恐れられていました。力で押しても一角仙人には絶対になわなないが、優しい人の心に触れたら、心を開いてくれるかもしれない…。さて、センダ夫人の計画はうまくいくのでしょうか。能の曲の中で五番目物といわれる華やかでテンポの良い曲です。豪快で迫力のある演技をお楽しみいただけます。能面にはたくさんの種類がありますが、この能「一角仙人」では、若い男の面、若い女の面、鬼神の面、そして滑稽な狂言面など色々な種類の能面を興味深く見ることが出来ます。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	児童・生徒が能楽師が演じるのと同じ絵本の能舞台上上がり、謡(うたい)と仕舞(しまい)の発表をしていただきます。発表の内容は後で見ていただく能「一角仙人」の一部分にあたるので、自分がお稽古していたことを、能の舞台上で確認していただくことができます。途中で助け合い、支え合うことによって成り立つということを理解してもらうことにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図れるものと考えます。ワークショップに参加した児童・生徒全員が舞台上上がり発表することになり、自分たちが取り組んできたことに対して、大きな達成感も味わっていただくことができます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	100名(舞台上で仕舞・謡を発表)	
		鑑賞人数目安	500名(スペースがあれば500名以上も可)	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>演目:能「一角仙人(いっかくせんんにん)」…金春禪鳳(世阿弥の娘婿である金春禪竹の孫)作、今昔物語集や太平記より取材【プログラム構成】※京都から能舞台を運び、体育館を能楽堂に変身させます。</p> <p>1. 挨拶・本公演の説明(5分)</p> <p>2. 絵本語り「一角仙人」(10分) …能の絵本「一角仙人～鹿の角をもつ男～」(文 片山清司、絵 小田切恵子、発行 BL出版)の画像をステージ上のスクリーンに映して、紙芝居のように場面を展開し、能楽師が絵本の朗読をします。後で本物の能をみていただく時に、この絵本語りが鑑賞の大きな手引きとなります。</p> <p>3. 児童・生徒による謡(うたい)・仕舞(しまい)の発表(10分) …ワークショップでお稽古した謡と仕舞を、児童、生徒が能舞台の上で発表します。(休憩)</p> <p>4. 能「一角仙人」鑑賞のための説明(5分) …登場人物がどのような姿で出てくるか、また絵本語りで紹介された能「一角仙人」のあらすじを確認します。</p> <p>5. 能「一角仙人」鑑賞(35分) …片山九郎右衛門をはじめ能楽界の第一線で活躍する能楽師の至芸を鑑賞していただきます。</p> <p>6. 質疑応答(10分) …子どもたちの質問に出演の能楽師が直接、回答いたします。</p> <p style="text-align: right;">公演時間90分+休憩時間</p>			
出演者	<p>観世流片山家十世片山九郎右衛門(かたやま くらう えもん)をはじめ、観世流片山家一門の能楽師を中心に、能楽界の第一線で活躍中のシテ方、ワキ方、囃子方、狂言方が一公演につき17名出演します。</p> <p>※出演予定者は、別添2「出演予定メンバー表」の通り。</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>シテ 片山九郎右衛門…観世流能楽師。片山幽雪(九世片山九郎右衛門)の長男。片山定期能楽会を主宰。重要無形文化財総合認定保持者。文化庁芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、京都府文化賞功労賞など受賞多数。</p> <p>ツレ 味方玄…観世流能楽師。味方健の長男。重要無形文化財総合認定保持者。京都府文化賞奨励賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞など受賞多数。</p> <p>ワキ 宝生欣哉…下掛宝生流宗家。宝生閑の長男。重要無形文化財各個認定(人間国宝)保持者。国立劇場伝統芸能伝承者養成能楽(三役)研修講師。</p>			

<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む</p>	<p>出演者: 17 名 スタッフ: 8 名 合 計: 25 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 2 t 車 長: 5.5 m 台 数: 1 台 ほかバン1台</p>			
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み 無</p>	<p>前日仕込み所要時間</p>		<p>時間程度</p>		
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>上演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>
	<p>8:30</p>	<p>8:30～11:00</p>	<p>13:30～15:10</p>	<p>10分</p>	<p>15:10～17:00</p>	<p>17時00分</p>
<p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。</p>						
<p>本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>		
	<p>16日</p>					
	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>		
		<p>4日</p>	<p>11日</p>			
	<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>			<p>計</p>	<p>31日</p>	
<p>公演に係るビジュアル ルイメー ジ (舞台の規模や演出が わかる写真)</p> <p>※採択決定後、図 面等の提出をお願 いします。</p>	<p>(図1・2) 体育館フロアに舞台を設置します。能舞台自体は8m×8m程ですが、役者が舞台に進入するための橋掛かりや、両袖のスペースを入れると幅(間口)13m×奥行き8m程度は必要です。体育館の広さに応じて体育館を横方向に舞台を設営するなど臨機応変に対応します。</p>   <p>(図3) 上演の様子(絵本語り)</p>  <p>(図4) 上演の様子(児童・生徒の発表)</p>  <p>(図5・6) 上演の様子(能「一角仙人」)</p>  					

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし		該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団】

ワークショップのねらい	<p>お稽古の内容は、本公演で鑑賞する能「大会」の一部です。自分たちが学び、発表したことが、本物の能の舞台では、どのように展開されるのか、それを確認できるのが本番の公演になります。ただ、ワークショップをするだけ、発表するだけ、公演をみるだけ、というのではなく、ワークショップやその後のお稽古を頑張ってやればやるほど、本公演を楽しむことができ、より深い理解につながっていくという一連のプログラムになっています。実際に、能に初めて触れるという子どもたちも多く、学校の先生方にとっても、よくわからない、難しそう、というイメージを持たれている場合が多いですが、子どもたちと話しをし、伝統的な手法を用いながらも、わかりやすく工夫をしながらお稽古をすることによって、そんなイメージを払拭し、興味、関心を引き出し、子どもたちの豊かな感性を育む場としたいと考えております。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名程度まで
ワークショップ実施形態及び内容	<p>小学校 45分＋休憩＋45分(学校様の時間の2時限分)          中学校 50分＋休憩＋50分(学校様の時間の2時限分)</p> <p>※ 本公演で鑑賞する能「一角仙人」について、わかりやすく解説をした後、能楽師の丁寧な指導のもと「一角仙人」の謡(うたい)と仕舞(しまい)のお稽古に取り組んでいただきます。ワークショップ実施後、本公演までの期間、発表に向けて児童・生徒に自分たちでお稽古をしていただきます(お手本の映像が入ったテキストDVD有り)。開催校の先生と相談の上、基本的にはワークショップに参加の児童・生徒全員に本番の公演の日に能舞台の上で発表をしていただきます。</p> <p>【プログラム構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 能舞台上で演じられる仕舞の映像を見る(5分)          …自分たちが取り組む仕舞・謡の映像を子どもたちに見せ、その説明を行い目標を明確にします。</li> <li>2. 能の歴史や能がどういう芸能なのかを説明(15分)          …室町時代に世阿弥によって大成され650年以上の歴史を持ち、世界無形文化遺産にも登録されている日本の古典芸能がどのようにして伝えられてきたのかを説明します。</li> <li>3. 能「一角仙人」の謡の体験(小学校10分、中学校15分)          …今回の演目「一角仙人」の謡を能楽師の指導のもと、参加者全員で体験します。</li> <li>4. 能「一角仙人」の仕舞の体験(10分)          …今回の演目「一角仙人」の仕舞を能楽師の指導のもと、参加者全員で体験します。</li> <li>5. 能楽師による仕舞「一角仙人」実演(5分)          …自分たちが取り組む仕舞・謡を能楽師が実演をします。 (休憩)</li> <li>6. 能「一角仙人」の謡と仕舞のお稽古(小学校30分、中学校35分)          …能楽師の指導のもと、謡と仕舞のパートに分かれてお稽古をします。</li> <li>7. 成果発表(10分)          …お稽古した成果を発表してもらいます。謡にあわせて舞をまうという体験をしていただきます。</li> <li>8. 能楽師による仕舞「一角仙人」実演(5分)          …本公演で発表をするという目標に向けて、能楽師のお手本を目に焼き付けていただきます。</li> </ol>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>ワークショップでは、能楽師の指導のもと、能「一角仙人」のクライマックスの部分について、子どもたちに謡と仕舞を体験していただきます。そして、本公演までの期間に自分たちでお稽古を続け、能舞台の上で発表していただきます。このように申し上げますと、実施校の先生方の中には「そんなことが本当にできるのですか」と言われる場合があります。そういった先生の不安を払拭するために、実施校の先生方には極力ご負担をお掛けしないこと、ワークショップの時間で子ども達はしっかり習得できること、また、お稽古については子供たちが自習で、もしくはお友達同士で十分できる内容になっており、必要な教材を用意することを説明し納得していただきます。能は、もともと参加型の芸能であるといわれています。能は、お稽古をすればするほど、舞台を鑑賞する楽しみが増えるのです。</p> <p>事前学習は必ずしも必要はありませんが、もしされるならば、日本芸術文化振興会製作著作の、ユネスコ無形文化遺産 能楽への誘い <a href="https://www2.ntj.jac.go.jp/unesco/noh/jp/">https://www2.ntj.jac.go.jp/unesco/noh/jp/</a>をご参照いただければよいと思います。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b> 若い世代の方々に能の魅力を伝え、後世により良い形で残していきたい。それは、私たち能に携わっている者の切なる願いです。しかし、「能は子どもには難しい」と考える方も多く、学校の先生の中には「子どもにわかるでしょうか」または、「子どもにできるでしょうか」と言われる先生もおられます。ところが、実際にやってみると、子どもたちは、ワークショップでは大きな声で謡い、しっかりと舞い、公演では目を輝かせて舞台に集中します。子どもにとって楽しい、おもしろいと思えるような内容をもってやれば、しっかりと受け止めてくれるのです。 日本人の生活の中で古典芸能を楽しむという時間が非常に少なくなっている今日、学校において能の公演やワークショップをさせていただくことは、願ってもない機会であり、学校側にとっても貴重なことだと考えます。能は、ユネスコの世界無形文化遺産の第1回目に宣言され、その文化的価値は誰もが認めるものです。しかし、全く能に縁の無い初心者の方に「これは素晴らしいものなのだ」とそのまま押しつけて、果して、本当に能の良さをわかってもらえるだろうか。そんな疑問から出発し、「ワークショップに始まり、本公演の鑑賞で終わる」という一連の取り組みを考えました。 <u>能楽は室町時代から絶えることなく継承されてきましたが、それは能楽師の技芸の事だけではありません。この大切な能を後世に残そうと努力をした先人たちの思いも同時に受け継がれているのです。そういう意味でも本事業に参加する子どもたちに能を継承するバトンを渡したいと考えています。</u></p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b> 本公演は、3部構成になっています。まず第1部では、当財団が制作をしている能の絵本「一角仙人～鹿の角をもつ男～」の画像をステージ上のスクリーンに映して、紙芝居のように場面を展開し、絵本の朗読をします。効果を高めるため囃子方(楽器演奏者)も入れます。絵本であらずじが頭に入るので、後で本物の能をみていただく時に、この絵本語りが鑑賞の大きな手引きとなり、「子どもに能は難しいのではないか」という不安も解消できます。<u>この「絵本語り」という手法は、能の公演を理解するためにたいへん効果的なものであり、今まで実施させていただいた全ての学校で好評をいただいております。支援学校の先生方からもたいへん評価をいただきました。</u>第2部では、一生懸命取り組んでいただいた能「大会」の謡と仕舞の成果を京都から運んだ本格的な能舞台の上で発表するという貴重な経験をしていただきます。第3部でプロの能楽師による能「一角仙人」を鑑賞するのですが、子どもたちは、自分たちが学び、お稽古をし、発表までしたことが、本物の能の舞台においてどのように展開するのか、ワクワクしながら舞台に注目します。そして最後のクライマックスの部分で、「ああ、これだったのだなあ。」と子どもたちの表情が一瞬にして輝きます。このように、能の鑑賞についても<u>ただ観るだけではなく、自分たちのやってきたことの最後の確認でもあり、鑑賞後にはそれぞれに達成感を持っていただくことが可能です。</u> 事業を効果的かつ円滑に実施するためには、学校の先生方のご協力が必須になります。ワークショップ及び本公演の内容について事前に電話、メール等で綿密に確認をいたします。不明な点については、いつでもお問合せいただけるように実施校決定後、早い段階で当方の担当者名をお伝えし、サポートします。その担当者が責任を持ってワークショップ、本公演にもまいります。</p>
--	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団】
制作団体組織役職員	<p><b>【理事・監事】</b></p> <p>理事(理事長) 片山清司 能楽観世流片山家当主(芸名:片山九郎右衛門)</p> <p>理事 永樂而全 千家十職焼物師十七代</p> <p>理事 大倉治彦 月桂冠(株)代表取締役社長</p> <p>理事 大宮 久 宝ホールディングス(株)名誉会長</p> <p>理事 観世三千子 京舞井上流五世家元(芸名:井上八千代)</p> <p>理事 杉浦京子 祇園新地甲部歌舞会総務</p> <p>理事 土田 晃 千家十職袋師十三代(職名:土田半四郎)</p> <p>監事 川端雅彦 税理士</p> <p>監事 山上耕司 弁護士</p> <p><b>【評議員】</b></p> <p>評議員 青木道喜 観世流能楽師</p> <p>評議員 石原義清 (株)俵屋吉富代表取締役社長</p> <p>評議員 大垣守弘 (株)大垣書店代表取締役会長</p> <p>評議員 太田 達 (株)老松代表取締役社長</p> <p>評議員 大西祐資 (株)京都新聞社代表取締役社長 主筆</p> <p>評議員 角田潤哉 (株)豆政代表取締役社長</p> <p>評議員 片山伸吾 観世流能楽師</p> <p>評議員 観世安寿子 京舞井上流舞踊家(芸名:井上安寿子)</p> <p>評議員 喜志哲雄 京都大学名誉教授</p> <p>評議員 杉浦宏和 一力亭杉浦家十四代目</p> <p>評議員 鈴鹿且久 (株)聖護院八ツ橋総本店代表取締役社長</p> <p>評議員 福井芳秀 (有)十松屋福井扇舗代表取締役会長</p>	

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団】	
出演予定メンバー表	能「一角仙人」		
	シテ(一角仙人)	片山九郎右衛門	☆
	ツレ(扇陀夫人)	片山伸吾	☆
	ツレ(龍神)	味方 玄	☆
	ワキ(官人)	宝生欣哉	◎
	間狂言(二番目之仙人)	小笠原由祠	☆
	囃子方(笛)	杉信太郎	
	" (小鼓)	吉阪一郎	☆
	" (大鼓)	河村 大	☆
	" (太鼓)	前川光範	☆
	後見	青木道喜	☆
	"	大江信行	☆
	地謡	古橋正邦	☆
	"	分林道治	☆
	"	橋本光史	☆
	"	田茂井廣道	☆
	"	橋本忠樹	☆
	"	大江広祐	
	※上記は出演者の一例。☆印は、重要無形文化財総合認定保持者、 ◎印は、重要無形文化財各個認定(人間国宝)保持者です。		